

2025年1月23日（木）13:00～15:50

第20回研究開発学校フォーラム 発表

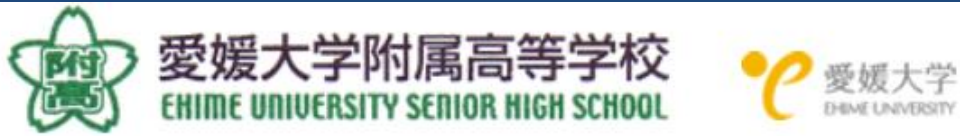
(15分間)

愛媛大学附属高等学校（愛媛県）

研究課題「個の特異な才能を見出すテラーメイド型の教育内容，
指導内容・評価方法の研究」

発表者 大西 倫 紀

(国語科，教諭)



発表項目

- 学校基礎情報
- テーラーメイド型教育の実現に向けて
 - (1) 課題研究の取組
 - (2) 各教科の実践事例～プロフィール化の試み～
- 生徒の活動実績

学校基礎情報

- 小規模校.....1学年定員120名 × 3クラス
- 総合学科.....4系列
 - 生命科学系列, 物質科学系列, 教養文化系列, 社会文化系列

【研究実績】

- 平成27～令和元年度(5年間) SGH
- 令和2～4年度(3年間) WWLコンソーシアム構築支援事業
- 令和3～6年度(4年間) 研究開発学校
 - 「個の特異な才能を見出すテーラーメイド型の教育内容, 指導内容・評価方法の研究」

教 育 課 程 表

1年次	必修科目																									原則履修科目				特別			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年全員	現代の国語		言語文化		公共		数学I		数学A		化学基礎		生物基礎		体育		保健		芸術I		コミュニケーション英語I		論理・表現I		家庭基礎		情報I		産業社会と人間		SDGs探究I		HR

2年次	必修科目																									選択A		選択B		原則履修科目		総合		特別
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
生命科学系列	論理国語	文学国語	古典探究	地理総合	歴史総合	数学II	数学B	物理基礎	体育	保健	コミュニケーション英語II	論理・表現II	化学		グローバル・スタディーズI	課題研究I	HR																	
物質科学系列													地域資源活用	基礎数学																				
教養文化系列													食品製造	農業と環境																				
社会文化系列													化学	理科基礎演習I				基礎数学情報II																
								地学基礎					論理文学演習	古典演習I																				
													理科基礎演習I	総合英語																				
													総合英語	生活総合B																				
													生活総合A																					
													論理文学演習	古典演習I																				
													理科基礎演習I	総合英語																				
													総合英語	生活総合B																				
													生活総合A	農業と環境																				

3年次	必修科目															選択C		選択D		選択E		選択F		選択G		選択H		選択I		原則履修科目				特別
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
生命科学系列	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究	日本史探究	体育	コミュニケーション英語III	論理・表現III	理科演習	数学III		数学C	理科探究	物理・化学・生物・地学		リベラル・アーツ	課題研究II	HR																
物質科学系列									数学探究	農業科学探究		総合実習I	数学演習I	数学演習I	数学演習II																			
教養文化系列									総合実習III	数学演習I	数学演習II	理科基礎演習II	総合実習II	総合実習IV	SDGs探究II																			
社会文化系列									理科演習	数学III		数学C	理科探究	物理・化学・生物・地学																				
								情報演習	英語演習I		倫理	地歴演習	数学演習I	政治・経済																				
								古典演習II	生活文化		理科基礎演習II	数学演習I	英語演習II	数学演習II																				
									数学演習I	数学演習II	生活健康																							
								古典演習II	英語演習I		倫理	地歴演習	数学演習I	政治・経済																				
									生活文化		理科基礎演習II	数学演習I	英語演習II	数学演習II																				
									農業科学探究		生活健康	総合実習II	総合実習IV	SDGs探究II																				

課題研究 I (グループ研究)

	協力学部	テーマ件数 (グループ数)	人数	SDG1	SDG2	SDG3	SDG4	SDG5	SDG6	SDG7	SDG8	SDG9	SDG10	SDG11	SDG12	SDG13	SDG14	SDG15	SDG16	SDG17	計
				貧困	飢餓	健康 福祉	教育	ジェン ダー 平等	水と トイレ	エネ ル ギー	働 き が い と 経 済	産 業 と 技 術 革 新	不 平 等	ま ち づ く り	つ く る つ か う 責 任	気 候 変 動	海 の 豊 か さ	陸 の 豊 か さ	平 和 と 公 正	パ ー ト ナ ー シ ッ プ	
1	法文学部	7	20		1	1	3						1		1				4	3	14
2	教育学部	12	23				8					3	2	1			1		2		17
3	社会共創学部	7	22	1		1		1			1	2	1	3				1			11
4	理科部	4	5		1				2			1		1	3			2			10
5	医学部	6	19	1		6							1								8
6	工学部	7	14							2	1	5		4	2		1	1			16
7	農学部	8	16		3	1			1		2	3		2			1	1			14
		51	119	2	5	9	11	1	3	2	4	14	5	11	6	0	3	5	6	3	90

大学の先生方から、ハード面・ソフト面に関わらずさまざまなサポートやご指導ををいただきながら、グループで自分たちの研究に取り組む。

課題研究Ⅱ

	協力学部	テーマ件数 (グループ数)	人数	SDG1	SDG2	SDG3	SDG4	SDG5	SDG6	SDG7	SDG8	SDG9	SDG10	SDG11	SDG12	SDG13	SDG14	SDG15	SDG16	SDG17	計
				貧困	飢餓	健康 福祉	教育	ジェ ン ダー	水と トイ レ	エネ ル ギー	働き がい と	産業 と技 術	不平 等	まち づく り	つく るつ かう	気候 変動	海の 豊か さ	陸の 豊か さ	平和 と公 正	パー ト ナー	
1	法文学部	4	4				2				1			1					1		5
2	教育学部	5	5				4											1			5
3	社会共創学部	8	8		1	2	2				3	1	1	7		2	1	1			21
4	理科部	4	4		1		4		1						2		1	1			10
5	医学部	8	8			8	2				1		3	4							18
6	工学部	5	11				3					4		1	1						9
7	農学部	6	5		4	1						1						3			9
		40	45	0	6	11	17	0	1	0	5	6	4	13	3	0	2	6	1	0	75

課題研究Ⅱ

	協力学部	テーマ件数 (グループ数)	人数	SDG1	SDG2	SDG3	SDG4	SDG5	SDG6	SDG7	SDG8	SDG9	SDG10	SDG11	SDG12	SDG13	SDG14	SDG15	SDG16	SDG17	計
				貧困	飢餓	健康 福祉	教育	ジェ ン ダー	水と トイ レ	エネ ル ギー	働き がい と	産業 と技 術	不平 等	まち づく り	つく るつ かう	気候 変動	海の 豊か さ	陸の 豊か さ	平和 と公 正	パー ト ナー	
1	法文学部	4	4				2				1			1					1		5
2	教育学部	5	5				4												1		5
3	社会共創学部	8	8		1	2	2				2	1	1	7		2	1	1			21
4	理科部	4	4																		10
5	医学部	8	8																		8
6	工学部	5	11																		9
7	農学部	6	5																		9
		40	45	0																	5

学会発表の実績もあり

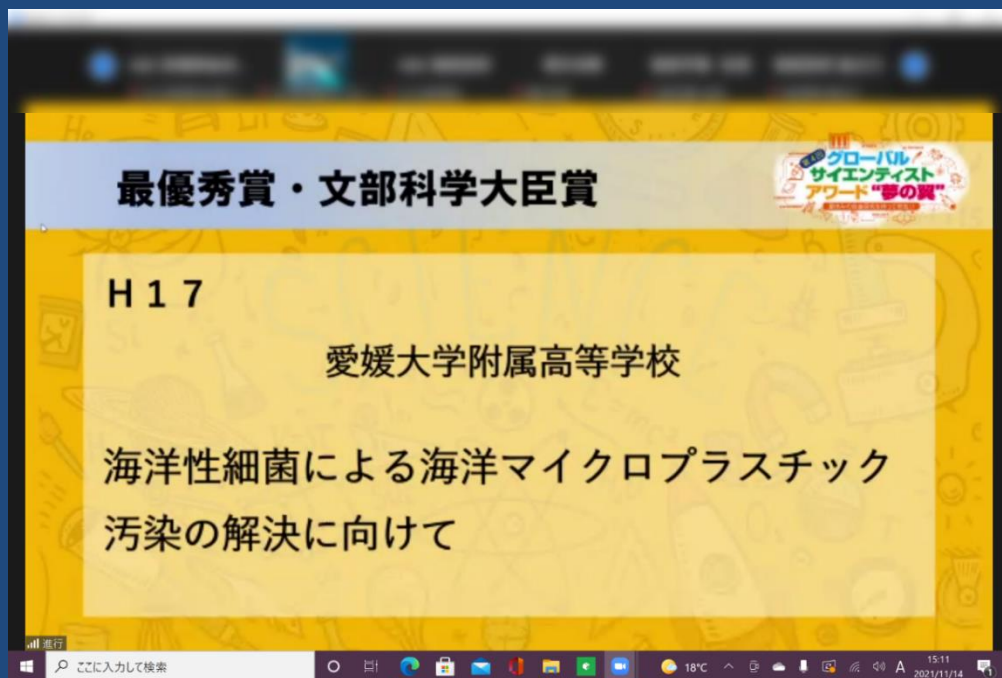
①生物系三学会中国四国地区合同大会(徳島大会),
高校生発表優秀賞

②2023年度応用物理・物理系学会 中国四国支部 合同
学術講演会発表, 島根大学

③「日本地質学会ジュニアセッション～第22回小・中・高
校生地学研究発表会～」参加

①海洋プラスチック問題解決に向けて

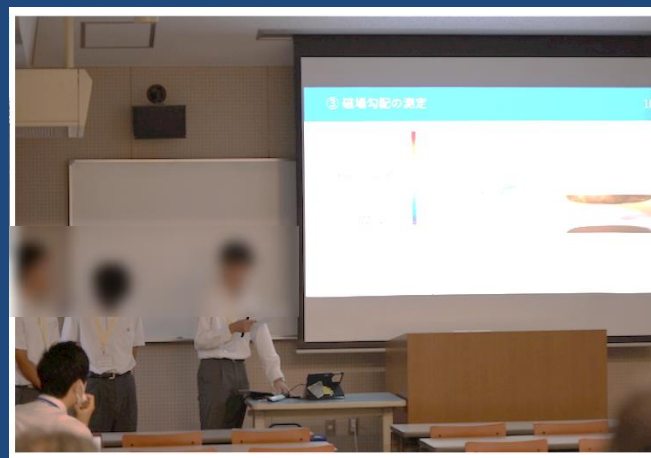
「海洋性細菌による海洋マイクロプラスチック問題の解決を目指して」



- ・「超異分野学会 香川フォーラム」「日本生物教育学会」等、各学会にて発表
- ・「国際生物多様性の日2022シンポジウム」にて発表
- ・「第4回グローバルサイエンティストアワード“夢の翼”」 最優秀・文部科学大臣賞, 他多数受賞

②2023年度応用物理・物理系学会 中国四国支部 合同学術講演会発表

「1テスラ以下でのモーゼ効果に関する研究」



- ・普段から実験授業が中心
- ・他校との交流事業
- ・指摘部分を課題研究Ⅱで修正、活用

③EGFキャンパスアワード2022 最優秀賞

「電車と双海に活気を！サイクリングと駅弁で町おこし」



- ・地域おこし協力隊との連携
- ・一人で実地調査
- ・愛媛大学社会共創学部進学決定

研究開発学校プロフィールの作成



愛媛大学附属高等学校
EHIME UNIVERSITY SENIOR HIGH SCHOOL



目的：テーラーメイド型教育の実現

方法：生徒の「認知」と「こころ」を調査し、個に応じたアプローチを行う。

全校生徒を対象として、Moodle にて毎月 1 回実施する。

氏名	単元A					単元B				
	学校生活	情緒	自己効力感	得点	観点別	学校生活	情緒	自己効力感	得点	観点別
A	3	2	2	63	ABA	2	3	1	57	ABB
B	2	2	3	82	AAA	1	3	2	71	AAB
C	2	1	2	50	BBB	2	2	1	48	BBB
D	2	3	1	59	BBA	1	2	3	66	ABB
E	3	3	2	77	AAB	3	2	2	75	AAA
F	1	1	2	43	BCB	2	1	2	49	BBB

達成目標

- ・ 個に応じた学習環境の構築
 - ・ 困り感のある生徒への指導
- 【 認知 】 × 【 こころ 】**
- ・ 個の特異な才能を伸長する取組

研究開発学校プロフィールの作成



アンケート内容 (こころの調査)

◎ 学校生活

- ・授業や部活動、行事ごとに前向きに取り組んでいると思う。
- ・行き詰まった時や悩みがあるときに相談できる環境にあると思う。
- ・級友と協働して物事に取り組むことができている。

◎ 学習

- ・学習内容(単元)が楽しく、やる気を維持できている。
- ・他者の意見を聞いたり自らの意見を発表したりするなど、意欲的に授業に臨むことができている。
- ・先生の解説等が興味深く、楽しく学習できている。
- ・教科において個別指導を希望している。



研究開発学校プロフィールの作成



アンケート内容 (こころの調査)

◎ 自己効力感

- ・課題にしっかり取り組むことができた。
- ・学校での学習や活動が、自分の自信に繋がっている。
- ・自ら単元の課題を見つけ自身で解決に向けて取り組むことができている。

◎ 家庭生活

- ・規則正しい生活を送れている。
- ・スマートフォンの使い方や時間について把握できている。
- ・家庭において学習に集中できる環境が整っている。
- ・家族は、自分の考えをほぼ理解してくれている。

◎ ひとこと

- ・学校生活や学習のことなど、何かあれば自由に記述してください。



生徒の流れ

Microsoft Forms のアンケートに回答



- ・回答の内容に応じて、プリントや小テスト、解説動画などが提供される。
- ・教員からの声掛け等

個に応じた学習環境の構築



教員の流れ

自動集計されたアンケートを分析



- ・「1」と回答した生徒へのケア
- ・「4」と回答した生徒への発展学習の提案

困り感のある生徒への指導
特異な力の伸長を目指した指導



こころの調査(2023.10月実施アンケート集計結果一部抜粋)

				選択B	【学校生活】				【学習】				【自己効力感】			【家庭生活】			
				質問内容	授業や部活動、行事、課外活動に対して前向きに取り組むことができる。	教育活動において級友と協働して物事に取り組むことができる。	行き詰まったときや悩みがあると、解決に向けて行動したり、相談先の手当がある等どうすればよいか見通しが立ったりする。	担任との懇談を希望している。	学習内容(単元)が楽しく、やる気を維持できている。	他者の意見を聞いたり自らの意見を発表したりするなど、意欲的に授業に臨むことができる。	先生の解説等が興味深く、楽しく学習できている。	教科において個別指導を希望している。	日々の課題にしっかりと取り組むことができている。	自ら単元の課題を見つけ自分で解決に向けて取り組むことができる。	学校での学習や活動が、自分の自信に繋がっている。	規則正しい生活を送れている。	スマートフォンの方や時間について把握できている。	家庭において学習に集中できる環境が整っている。	家族は、自分の考えをほぼ理解してくれている。
学年	クラス	出席番号	氏名		カテゴリ	学校活動	協働	自己解決	緊急性	学習内容	授業	授業者	個別学習	受動的	能動的	自信	規則正しい生活	スマホ	集中環境
2	1			古典演習I	4	4	4	希望しない	3	3	3	0	3	3	3	3	4	4	4
2	1			古典演習I	4	4	4	希望しない	4	2	3	国語、数学、英語	1	3	4	4	3	4	4
2	1			古典演習I	4	4	3	希望する	3	4	3	0	3	3	4	3	3	3	3
2	1			古典演習I	3	3	3	希望しない	1	3	2	0	3	3	2	3	3	3	4
2	1			古典演習I	3	4	4	希望しない	2	3	3	0	3	3	3	2	3	2	3
2	1			古典演習I	3	3	3	希望しない	2	2	2	0	3	3	3	2	3	3	3
2	1			古典演習I	4	4	4	希望しない	4	4	4	0	4	4	4	4	4	4	4
2	1			古典演習I	4	4	2	希望しない	4	4	2	地学基礎	4	3	4	4	3	3	3

(2) 各教科の実践事例

国語科「古典演習Ⅰ」(「こころのアンケート」を活用した授業実践)

授業実施学年:2年(選択履修:受講生18名)

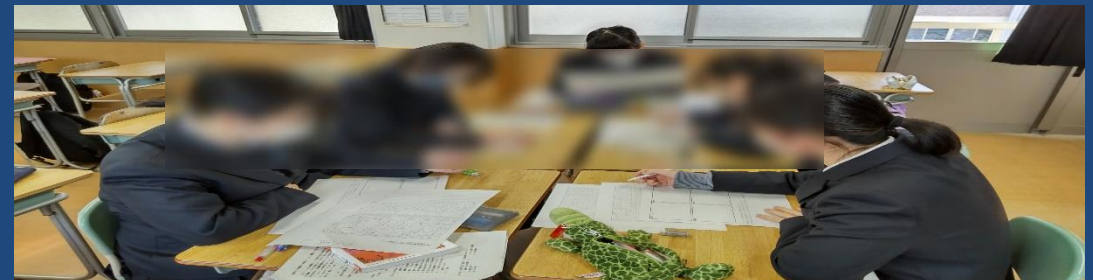
単元:「論語から学ぶ(漢文)」

内容:①「こころのアンケート」で1点台の回答(授業の学習状況・自己効力感)があった生徒を抽出し、TTによる指導を実施し、改善を図る。

②「論語」を題材として、グループごとに課題を設定し、その課題解決を図る。

結果:①については、「こころのアンケート」を通して古典の学習でつまずきのある生徒が少なからず見受けられたため、国語科教員で情報を共有し、生徒への聞き取りも踏まえつつ、TTの形式で生徒たちにアプローチすることができた。生徒一人一人の状況を把握しながら個別に声をかけたりなど、丁寧な指導につながったと考えており、生徒からの反応も良かった。

②については、「こころのアンケート」において、「学習内容から課題を見つけ、自ら解決に向けて取り組もうとする」という項目で1点台だった生徒が数名見受けられたため、その改善をねらった。一方で、本講座には古典への興味関心を強く持っている生徒(4点台)も一定数いるため、彼らに発展的学習を提供するという意味でも②を実践することとした。そこで、1点台の生徒と4点台の生徒を混在させたグループを形成し、グループワークに取り組みさせた。結果として、古典を通じて自分たちの生き方を見つめ直す契機となったり、現代社会の諸問題へのアプローチを検証するなど、意欲的に学習に取り組めた。



(2) 各教科の実践事例

家庭「家庭基礎」(「こころのアンケート」を活用した個別指導)

授業実施学年: 1年

単元: 家族・家庭、食生活、保育、ホームプロジェクト(1~2学期)

NO.		7月					9月					10月					11月								
		学校生活	学習	自己効力感	家庭生活	1学期評価	手当	学校生活	学習	自己効力感	家庭生活	夏季課題	手当	学校生活	学習	自己効力感	家庭生活	中間評価	手当	学校生活	学習	自己効力感	家庭生活	2学期評価	手当
1	A	3	2.3	2.3	2.5	3		3.3	2.3	1.3	1.8	6	○	2.3	1.7	1.7	2.3	20	○	3	2	2	2.3	3	
2	B	3.7	2	1.3	2.5	3	○	3	1.7	1.7	2.8	6	○	3.3	1.7	1.3	2.8	15	○	3.3	2	2	3	3	
3	C	1.7	2	1.7	2	3	○	3	2	2	2.3	5	◎	3	2	1.3	2.5	6	◎	3	2.3	2.3	3	3	◎
4	D	3	2	2.3	3.3	5	○	3	1.7	1.3	2.5	12	○	3.3	1.7	1	3.3	19	○	2.3	1.7	2.3	3.3	5	○
5	E	2.3	2.3	1.3	3	4	○	2.3	2.7	1.7	3	7	○	2.3	1.7	2	3	8	○	2.3	2.3	2	3	3	◎
6	F	2.7	1.7	1.7	2.8	3	○	2.7	1.7	1.7	2.8	0		2.7	1.7	1.7	2.8	5	◎	2.7	2.3	2	2.8	3	○
7	G	1.7	1	1.7	3.3	5	○	1	1	2	2.8	7	○	1	1	2.3	3	15	○	1	1.3	2.3	3	4	◎
8	H	2.3	1.7	1.7	1.5	3	○	3	1.3	1.7	2.8	4	○	3	2	2	2	13	○	2.3	1.3	1.7	2.3	3	○
9	I					5		2	1.7	1.7	3.3	7	○	3	2.3	1.3	3	17	○	3	2.7	2	1.8	4	◎
10	J	3.7	3.3	3.3	3.5	5		4	3	3.3	3.5	12	☆	3.7	3.7	3.7	3.3	18		3.7	3	3.3	3	5	
11	K	3.3	3.7	3.3	3.5	4		3.3	3.3	3.8	3.8	16	☆	4	3.3	4	3.8	17		4	4	3	4	5	
12	L	3.3	3.3	3.3	3.5	5		3.3	3	3.3	3.3	16	☆	3.7	3.3	4	4	19		4	3	3.3	3.5	5	
学年平均						4.2																		4.2	

○机間巡視中の注意、ノートへ付箋・コメント、個別に声かけ・励まし

◎ノート、プリント整理の手伝い・面談

☆コンクール代表に選出し、個別指導。作品をブラッシュアップした。

コンクール
応募の3名中
2名が「佳作」に入
選しました



夏季課題の展示



作品の相互評価



保育実習

内容: 第1、2回の「こころのアンケート」で
1点台の回答があった生徒を抽出し、個別指導を
行う。

【授業中の机間巡視、声かけ】

- ・ノートがとれているか
- ・グループでの話し合いに参加しているか
- ・実習に主体的に取り組んでいるか

【提出物】

- ・付箋をつけて未記入部分を示す
- ・励ましのコメントを記入する
- ・プリントの整理を手伝い提出を促す
- ・提出物の状況を本人と確認する

結果: A~Iの何かしら心に鬱屈を抱えている生徒に
対し、一斉授業の中で特に注意を払って対応でき
たり、授業以外で個別の声かけができたという
点で大変メリットがあった。また、_____は夏季
課題が優秀であったので、家庭科のコンクールに
応募した生徒である。課題解決型の学習に意欲的
に取り組んでいるこれらの生徒たちは、「こころのア
ンケート」でも高得点が出ていることがわかった。

「こころの調査」を活用した各教科の取組

教科	学年	単元	概要・ポイント
国語	2年生	漢文 「論語から学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> ①グループ単位で、論語の章句の中から一つをピックアップし、孔子の考えをまとめるとともに、現代の生活との関連性を持たせながら自分たちの生き方や考え方に生かす。 ②パワーポイント資料を作成し、全体へ発表を行う。 ③事前事後アンケートを実施し、学習内容の深化を図る。
地歴公民	2年生	地理 現代世界の系統地理的考察	「世界の中心を探す」をテーマとした調べ学習の中間発表を行う 生徒と教員による授業評価(ルーブリック評価、質疑・応答など)
数学	2年生	数学B「ベクトル」	<ul style="list-style-type: none"> ①こころの調査と成績を参考に一部生徒を選び、振り返りのプリント学習を行う ②理解度テストとアンケートを実施し、プリント学習が授業への取組を支えたか調査する。
理科	2年生	物理基礎	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の実態調査より、毎時間の授業時に短時間の実験やグループワークを取り入れ、自己効力感の向上等をねらいとする。 ②生徒自身が単元の課題を見つけ解決に向けて取り組めるよう、到達目標を考慮しながら、難易度の異なる課題をいくつか設定し、生徒自身が課題を選択できるシステムを運用する。
英語	1年生	英語コミュニケーション I	英語に慣れ親しみ、運用能力を高める活動の充実を図る。 (small talk、guessing game、絵を使ったリスニング、英文学の読了、ALTによる自国の文化の紹介、留学生によるホームルーム活動など)

「こころの調査」を活用した各教科の取組



教科	学年	単元	概要・ポイント
保健体育	1年生	球技 ベースボール型 ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎練習では、生徒各自の技術に応じた練習内容の提供を行う。 ②簡易ゲームを実施し、実践の中でルールや進め方を確認する。 ③各自の課題練習では、各生徒の到達度に応じた助言を行う。
家庭科	1年生	「家庭基礎」 ・家族・家庭 ・食生活 ・ホームプロ ジェクト ・保育	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の実態調査を基に、授業中は机間巡視をする際にノートがとれているか、グループでの話し合いに参加しているか、実習に主体的に取り組んでいるかなどに注意し、適宜声かけを行う。 ②提出物に付箋をつけて未記入部分を示したり、コメントを返すことで、困り感を持つ生徒へのアプローチを行う。 ③発展的学習(一部生徒によるコンクールへの応募)
農業	農業クラブ員 (農業科目履修者)		<ul style="list-style-type: none"> ①農業鑑定競技の事前学習を「ルーラル電子図書館」で実施。個別最適な学習環境を提供することをねらいとする。1年生2名が農業鑑定競技全国大会(熊本県)に出場した。 ②愛媛大学生との協働授業(2年:地域資源活用) 「えひめ学生企業塾」に所属する大学生と共に地域資源活用による地域活性化について学習。(計7回実施) ③登録有形文化財「木村邸」にて1日限定カフェを開催 →成功体験を積むことで自己効力感を高める。 →こころのアンケートで「1」が付いている生徒には大学生との相談会を実施。

生徒の活動実績(令和3年度)



- ・第4回グローバルサイエンティストアワード“夢の翼”最優秀・文部科学大臣賞
「海洋性細菌による海洋マイクロプラスチック問題の解決を目指して」
- ・第35回愛媛県高校総合文化祭 自然科学部門 ポスター発表 優秀
〈理科部酢酸菌班 県総合1位(全国大会出場)〉
「利便性の高いCNFをつくる酢酸菌株と培養条件の探索」
- ・立命館宇治中学校・高等学校主催「第4回全国高校生 SR サミット AFTER FOCUS」参加
- ・京都先端科学技術大学附属高等学校(WWL 連携校)主催
「Global Simulation Gaming(模擬国連)」参加
- ・海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園全国大会優勝
- ・文部科学省主催 2021 全国高校生フォーラム(オンライン)「マチ探」活動に関する報告
- ・愛媛県、えひめ産業復興財団主催 EGF キャンパスアワード 2021-2022
プレゼン最終審査(予選通過)
- ・令和3年度全国高等学校総合体育大会出場(自転車競技・フィギュア競技)

生徒の活動実績(令和4年度)



- ・第11回イオンエコワングランプリ<<研究・専門部門>> 内閣総理大臣賞
- ・マリンチャレンジプログラム2022中国・四国大会 優秀賞
- ・第6回えひめの生物多様性守りたい！甲子園
つなげ！生物多様性高校生チャレンジシップ2022 最優秀賞
- ・海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園全国大会準優勝
- ・第36回愛媛県高校総合文化祭 自然科学部門
ポスター発表 優秀<県総合1位(全国大会出場)>
- ・全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文)参加
第17回 高校環境化学賞(富山大会)最優秀賞(松居記念賞)
発表「利便性の高いセルロースをつくる酢酸菌株と培養条件の探索」
- ・第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ 佳作
「江戸から令和で生じた酢酸菌の進化～継代培養実験による進化再現への挑戦～」
- ・生物多様性守りたい！甲子園 最優秀賞

生徒の活動実績(令和4年度)



- ・愛媛県、えひめ産業復興財団主催
EGF(愛媛グローバル・フロンティア)プログラム(「電車と双海に活気を!サイクリングと駅弁で町おこし」「非日常感を味わえる自然の中でグランピング体験」) キャンパスアワード
2022-2023 えひめ産業復興財団賞 最優秀賞
- ・立命館宇治中学校・高等学校主催 「第5回全国高校生 SR サミット AFTER FOCUS」参加
- ・京都先端科学大学附属高等学校(WWL 連携校)主催
「Global Simulation Gaming(模擬国連)」参加
- ・AFS アジア交流架け橋プロジェクト第19回留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛2022
出場
- ・愛媛県教育委員会主催 令和4年度愛媛県高等学校国際教育研究協議会研究会参加
- ・筑波大学附属高校主催 国際会議「第11回高校生国際ESD シンポジウム」参加
- ・令和4年度全国高等学校総合体育大会
自転車競技出場
馬術競技 出場

生徒の活動実績(令和5年度)



- ・トビタテ留学JAPAN(フィリピン・モザンビーク・アメリカ)参加(3名)
- ・フィリピン高校生との相互研修を通じたグローバル人材育成の実践と検証
フィリピン研修8名参加
- ・ルーマニア高校生受入れによる国際協学 ～海外の附属高校ネットワークの充実を目指して～
- ・日本農芸学会2023年度広島大会ジュニア農芸化学会2023 銀賞
「江戸から令和で生じた酢酸菌の進化～継代培養実験による進化再現への挑戦～」
- ・第47回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 ポスター発表
- ・2023年度応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会研究発表
「1テスラ以下でのモーゼ効果に関する研究」
- ・愛媛大学社会共創コンテスト2023〈地域課題部門〉奨励賞
「共存型稲作の検討と有機農業普及への活動～田んぼの嫌われ者、ジャンボタニシで無農薬に挑戦～」
「松山の海岸におけるマイクロプラスチック汚染の実態調査と対策に向けた啓発活動」
「自発的に取り組むフードドライブ～地域と連携した食料支援～」

生徒の活動実績(令和5年度)

- 京都先端科学大学附属高等学校主催
「Global Simulation Gaming(模擬国連)」参加
- サステイナブル・ブランド・ジャパン主催
2023年度サステイナブル・ブランド 国際会議 学生招待プログラム
「SB Student Ambassador 四国大会」参加
- 愛媛県主催「ビジフェスEHIME2023」参加
- 愛媛大学附属高校主催国際会議
「全国高校生SDGs Youth Summit」参加

生徒の活動実績(令和6年度)



- ・トビタテ留学JAPAN(モザンビーク)参加(1名)
- ・生物系三学会合同大会岡山大会 最優秀賞
- ・株式会社リバネス主催 超異分野学会2024岡山・中四国フォーラム
ポスター発表 超異分野賞
- ・「日本地質学会ジュニアセッション～第22回小・中・高校生地学研究発表会～」
参加
- ・海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園2024 全国大会出場
- ・第67回全国高等学校選抜レスリング大会 入賞
- ・フィリピン研修参加
- ・ルーマニア高校生受入れによる国際協学
～海外の附属高校ネットワークの充実を目指して～
- ・愛媛大学附属高校主催 国際会議「全国高校生 SDGs Youth Summit」参加

生徒の活動実績(令和6年度)

- ・愛媛大学附属高校主催国際会議「全国高校生SDGs Youth Summit」参加
- ・文化祭における吹奏楽部による初のマーチング披露
- ・愛媛県高等学校合同オーケストラへの参加(全国大会出場)
- ・令和6年度愛媛県学校農業クラブ連盟各種発表県大会プロジェクト発表の部
分野I類 優秀賞
- ・筑波大学・筑波大学附属坂戸高校主催
国際農業研修Ⅶ「Indonesia Fieldwork2024」参加
- ・第75回日本学校農業クラブ全国大会岩手大会農業鑑定競技会区分草花 優秀賞
- ・毎日新聞・全国農業高等学校長協会主催
全国農業高校HANASAKA収穫祭2024参加
- ・筑波大学附属坂戸高校主催 第13回高校生国際ESDシンポジウム参加
- ・国土地理院主催G空間EXPO2025「Geoアクティビティコンテスト」出場予定
(令和7年1月実施予定)

